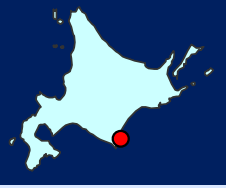
第4種 庶野漁港（北海道えりも町）

えりも地域マリンビジョン策定

庶野（しょや）地区特定漁港漁場整備事業計画

日高東部圏域 流通拠点



現状と課題

・津波来襲時に防波堤や岸壁が倒壊する危険性があり、大規模災害発生時における漁業活動の継続・早期再開が困難となる懸念がある。
・港口からの進入波、護岸からの越波、強風等により、港内擾乱や岸壁からの越流、係留漁船の損傷等が発生しており、漁業活動に支障を来している。
・前浜を拠点とする採藻漁業において、漁船の上下架作業や陸揚げ作業等に労力・時間を要する非効率な作業を強いられている。

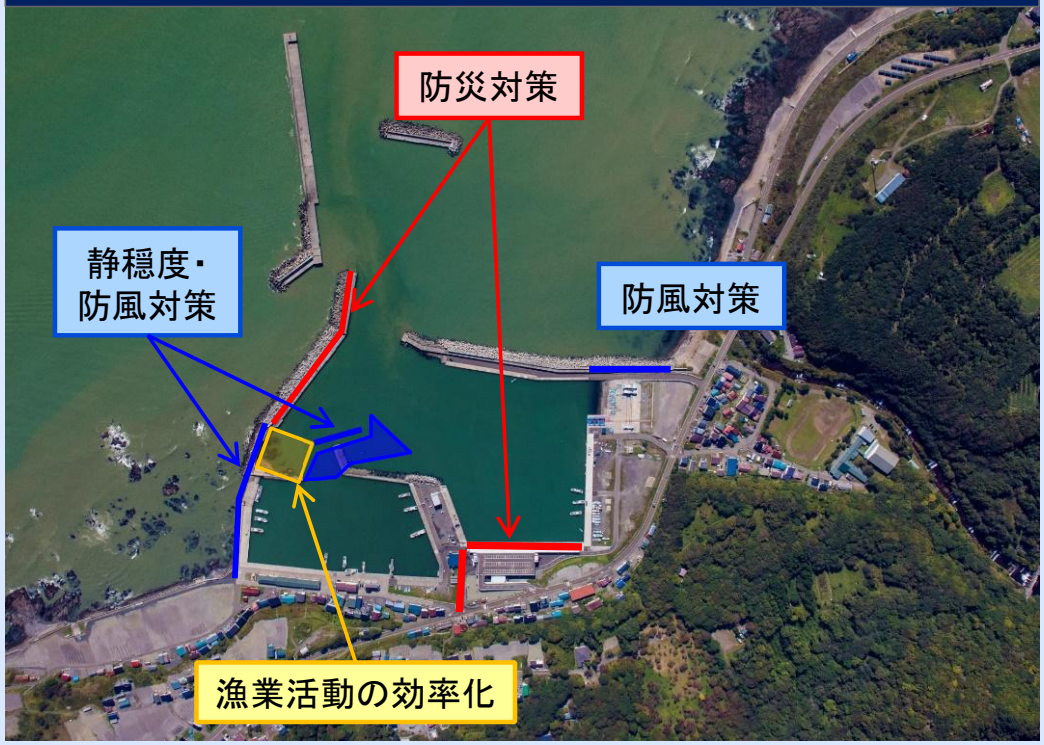
港　勢　（R5港勢調査）

登録漁船：162隻
利用漁船：153隻
（内、外来漁船：11隻）
属地陸揚量：2，394トン
属地陸揚金額：9．8億円
主な魚種：コンブ類、マダラ
組合員数：169人

◎庶野漁港の役割

・襟裳岬東部海域を主漁場とするサケ定置網、磯根漁業等の沿岸漁業の流通拠点
・襟裳岬周辺海域で操業、航行する漁船の避難拠点

主　要　対　策



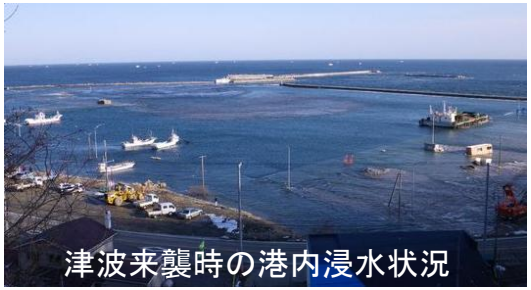
主な整備方針

・津波来襲時においても、地域の産業基盤となっている水産業を安定的に維持するため、漁港機能の早期再開、地域の防災対策強化として、防波堤及び岸壁の耐津波性能の強化、道路の液状化対策を行う。
・荒天時における港内静穏度を確保するため、港口切替として突堤や航路を整備する。また、漁船係留等の安全確保のため、護岸の嵩上げ改良による越波対策、防風柵設置による防風対策を行う。
・漁業活動の効率化を図るため、前浜利用漁船の上下架作業や漁獲物の陸揚げを行うための船揚場等を整備する。

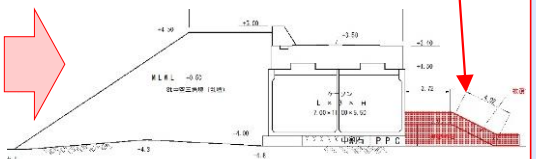
基本事項

全体事業費：25．0億円
事業期間：R3～R12

主要な対策①：防災対策


津波来襲時の港内浸水状況

防波堤の耐津波性能を強化するため、
防波堤背後に基礎捨石及び被覆ブロックを整備
（イメージ）



主要な対策②：静穏度・防風対策

荒天時の港内擾乱

強風による上架漁船の落下